



# 岡崎市民病院 だより

第8号

平成18年1月31日発行

## 電子カルテがスタートしました

情報管理室長 早川 文雄



みなさま、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

岡崎市民病院では今年のお正月、平成18年1月1日から電子カルテが動き始めました。職員が慣れるまでしばらくの間ご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をお願い致します。

電子カルテは、病院内の患者さんに関するあらゆる情報を電子化し、いつでもどこでも即座に参照することができるよう導入された、「病院統合情報システム」の中心的な役割を担うシステムと位置付けられています。電子カルテの導入によって得られる利点は多方面にわたりますが、情報の共有化だけでなく、医療の安全化に貢献することを強く意識して開発して参りました。

たとえば、入院中の患者さんが点滴や注射を受ける場合、看護師は医師の指示内容と薬品、患者さんが間違っていないか、バーコードを読みとって照合します。この「認証」という行為に合格してから注射を実施することにより、ヒューマンエラーに基づく医療事故を未然に防ぐことができるのです。そのために、入院患者さんは手首にリストバンドを付けていただくことになりました。

外来診療ではこれまでのように、紙カルテやレントゲンフィルムが外来に届くまで診察をお待たせすることがなくなり、医師が診察中にぶ厚い紙カルテから重要な過去情報を探し出すといった、不確かで困難な作業もなくなります。こういった情報の電子化(共有化)によって

もたらされる業務の効率化は、結果として診察待ち時間を短縮することにつながり、必要情報が迅速かつ確実に得られるため医療の安全とレベル向上に貢献すると期待されます。

導入された電子カルテは病院全体の業務に広く展開し、紙面で紹介しきれないほど豊富な機能を持っていて、診療全般の質を高めることは間違いありませんが、多機能であるが故に使い慣れるまでしばらくの間がかかります。昨年の1年間をかけて全職員を教育して参りましたが、それでもスタートしてしばらくの間は、不慣れからご迷惑をおかけすることが幾つかあると予想されます。

職員一同、少しでも早くシステムを使いこなし、円滑な運用ができるように全力を挙げ努力して参りますので、ご協力下さいますよう、お願い申し上げます。

## 生命倫理 (医療倫理)

ってなに？



## 生命倫理（医療倫理）

倫理とは人間が社会生活の中で守るべき規範・ルールのことです。医師が守るべき義務としては、2000年以上前に医学の父ヒポクラテスが定めたとされる「ヒポクラテスの誓い」が有名です。その中には、患者の秘密を守ることや、性別や身分によって差別をしないことなどが挙げられています。その後、第二次世界大戦中のナチスによる人体実験への反省をもとに、世界医師会では人体を対象とした医学研究では十分な説明をし、同意を得る（インフォームド・コンセント）必要があることを宣言しました（ヘルシンキ宣言など）。以上のことは今では当然のことばかりですが、現在、医学や医療に関して問題となっている倫理問題は広汎で複雑な問題を含んでいます。特に先端医療と呼ばれる分野では問題が山積しています。医学や医療の進歩に伴い、ヒトの誕生や死に医療が関わるようになってきました。生命の誕生の面では胎児の段階、さらには受精卵の段階で遺伝子の異常が発見されるようになってきていますし、遺伝子操作も話題になっています。死に関しては、延命治療の問題、脳死の問題など広く議論されたのは記憶に新しいところです。これらの中には技術的に可能になったからといってすぐに実行に移してはいけない問題が多く含まれます。単に専門家の間で結論を出せるものではなく、すべての人が考え、議論に参加する必要があるのです。



## 糖尿病教室の歴史

岡崎市民病院の糖尿病教室は昭和63年から開催されています。当初は週1回、主に外来患者さんを対象に開かれていましたが、急増する患者さまにお応えできるよう平成16年9月からは毎日参加できる入院患者さん向けの「新・糖尿病教室」を発足させ現在に至っています。当院の教室の特徴は、医師、薬剤師、臨床検査技師、栄養士、歯科衛生士、社会福祉士といった多彩な職種が共同で運営していることであり、現在ではさらに理学療法士・看護師も加わっています。一方、外来患者さん向けには毎月「糖尿病を学ぶ集い」を開催し糖尿病療養に役立つ情報をお届けしています。

## 入院患者さま向けの糖尿病教室

糖尿病療養で一番重要なのは患者さんが「将来的にどうなりたいか」をご自身に問うことです。そして患者さま自身が治療法を選択することです。糖尿病教室の担当者はこれをお手伝いできることをとても誇りに思っています。

「糖尿病と診断され入院はしてみたが、何だか自分の身体のことなのによくわからない」という患者さまには身体のどこが弱くなってしまったのかをお伝えすることができます。そしてご自身の合併症を知ることが、将来を有意義に暮らすためにとても役立つことでしょう。

現在、糖尿病教室では1週間から2週間の参加で療養についての考え方を一通りお届けできるように準備しています。担当者は食事や運動、お薬や検査などについての療養に役立つ豊富な知識を持った専門家です。どんなことでも遠慮なくお尋ねください。

### 第33回 岡崎市民病院 糖尿病教室

日時：平成17年11月28日～12月9日  
15:00から

会場：事務局分室（売店の向かい側）

準備：糖尿病療養ハンドブック（初回参加日にお渡しします）  
筆記用具

		内 容	担当者
11月28日	月	糖尿病とは I	医師
11月29日	火	検査データからみた自分の糖尿病 （血糖値を記録しているノートをお持ちください）	臨床検査技師
11月30日	水	運動療法 （運動ができるくつをはいて、参加してください）	理学療法士
12月1日	木	食事療法 I	栄養士
12月2日	金	う歯、歯周病の話、ブラッシングの実際 （歯ブラシをお持ちください）	歯科衛生士
12月5日	月	糖尿病とは II	医師
12月6日	火	シックデイの過ごし方とフットケアについて	看護師
12月7日	水	糖尿病のお薬と低血糖への対応	薬剤師
12月8日	木	食事療法 II	栄養士
12月9日	金	合併症について	医師

## 外来患者さん向け「糖尿病を学ぶ集い」

外来患者さん向けには毎月「糖尿病を学ぶ集い」を開催しています。楽しく安心な生活が送れるように願って糖尿病療養に役立つさまざまな情報をお届けしています。

「糖尿病と診断されたが一体どんな病気かよくわからない」という方には、自分の身体に起きたことを理解する上でこの集いはとても良い機会となるでしょう。まだ糖尿病と言われてはいないけれど心配な方や、血糖値が下がらずお困りの方もきっとヒントが得られることでしょう。「糖尿病を学ぶ集い」はわかりやすく、楽しく、役立つ会を目指しています。これから多くの患者さまのご参加とご意見をお待ちいたしております。

## 1. 血液内科とは

私たちの体内には、成人で4,000～5,000mLの血液があります。ふつう男性は体重の約8%、女性は約7%程度が血液であるといわれています。この血液は大きく分けると血球部分と血漿部分からなります。血球は赤血球・白血球・血小板からなり、血漿の主要成分は血液凝固に必要な凝固因子や免疫グロブリンなどのタンパク質です。

血液内科はこの血球や血漿タンパクの異常による病気の診療を専門にしています。具体的には白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫など造血器腫瘍（血液のがん）の薬物療法を中心に、貧血、血小板減少、出血傾向を含めた血液疾患一般の診断、治療を行っています。当院では悪性疾患の患者さまにも原則として病名をお話しし、十分な説明の上に、納得のいく形で治療法を選択して頂いています。また、患者さまのQuality of Life（生活の質）を最も重視した治療を行っています。

治療法をご説明するときには、世界的な視点から見て標準的である方法を第一に推薦します。造血器腫瘍の治療は日々改善されてきています。私たちは、新しい治療法を取り入れ、最新で最適な治療をお受けいただけるよう心がけています。

## 2. 次のような症状のある方は

血液学的異常の大部分は他の疾患に合併あるいは続発することから、症状は多彩です。この症状があれば、血液疾患だといいい切れる症状はありません。従って、次のような症状がある場合は血液疾患の可能性を考えて詳しく検査をする必要があります。

貧血症状（顔色が不良、ふらつき、息切れ、立ちくらみなど）

長期間続く風邪症状（全身倦怠感、発熱、咽頭痛など）

打撲した覚えもないのに皮下出血（青あざ）ができる

鼻出血や歯肉出血が頻繁に起こる

リンパ節（リンパ腺）の腫大（頸部や腋の下などのしこり）

健康診断で白血球数や血小板数の異常を指摘された

このような時はぜひ、血液内科を受診してください。

初回受診時は、異常を明らかにするためにスクリーニング検査を行います。その結果に基づいて、さらに詳しい血液検査を行ったり、血を造っている骨髄（骨の中心部）に針を刺して骨髄液を採取したりします。リンパ節の腫れが続いている場合は耳鼻咽喉科や外科に依頼して、一部のリンパ節を切り取って検査します。

貧血の中で最も多いものは鉄欠乏性貧血です。鉄欠乏性貧血は、消化管からの出血や女性の生理過多によることがほとんどで、貧血治療のためにお薬（鉄剤）を処方するとともに、原因を探すために消化器科や婦人科に受診していただいています。

### 3. 移植医療の紹介

造血幹細胞移植（いわゆる骨髄移植）は血液疾患の治療に欠かすことのできない治療法です。造血幹細胞移植では、がん細胞を死滅させるため大量の抗がん剤投与や放射線照射を行います。そのため、白血球や血小板は皆無にまで減少するので放置すれば生命を保つことができないので、血球を作る能力を持った細胞（造血幹細胞）を移植します。造血幹細胞は、同胞や骨髄バンクに登録していただいた方のなかで白血球の型の合致した方より採取しますが、治療で良好な状態となった時に患者さま本人の幹細胞を保存しておくこともなされています。

従来、造血幹細胞の採取は全身麻酔下で骨髄より行っていましたが、最近は幹細胞を注射でふやして静脈より採取する末梢血幹細胞移植が主に行われるようになってきました。末梢血幹細胞移植は骨髄からの移植と比べて成績に遜色はなく、採取時の幹細胞提供者の負担が軽減されます。

市民病院の血液内科病棟には7床の無菌室があります。臨床工学室や輸血部の協力を得て、末梢血幹細胞の採取から保存までがスムーズに行われており、血液内科、血液病棟が中心となり、造血幹細胞移植チームを作って積極的に造血幹細胞移植に取り組んでいます。年間に血縁者間の同種幹細胞移植を1-2例、自己幹細胞移植を10例前後行っています。

### 4. 血液疾患治療の進歩

造血器腫瘍の多くは染色体の変化からおこることが分ってきました。このような染色体の変化により、がん細胞が無制限に増殖するための物質（異常分子）が作られます。どのような分子ができるかはがんの病型によって決まっており、いくつかの疾患においてそれらの分子を攻撃するお薬が開発されてきています。身体の中に残っている正常な細胞はそのような異常分子を持たないので、これらのお薬はがん細胞のみを選択的に死滅させることができます。このような治療法を分子標的治療と呼んでいます。

たとえば、白血病の中でも急性前骨髄球性白血病は治療が最も困難な白血病でしたが、分子標的治療薬である活性型ビタミンAが用いられるようになり治療に伴う合併症も減少し、5年生存率は70%を越えるなど、格段に治療成績が向上しています。

また、慢性骨髄性白血病では同種造血幹細胞移植が唯一治癒をもたらす治療でしたが、同じく分子標的治療薬であるイマチニブの登場により薬のみで治癒が目指せる可能性が出てきました。

悪性リンパ腫のうちBリンパ腫は薬がよく効くタイプの造血器腫瘍でした。Bリンパ腫の細胞はその表面にCD20という蛋白分子をもっています。この物質に対する抗体であるリツキシマブが開発され従来の抗がん剤と併用されるようになって治療成績が一段と向上しています。

このように造血器腫瘍の治療では造血幹細胞移植以外に分子標的療法なども取り入れられ、治療成績が向上してきておりますが、高齢化とともに増加する高齢者白血病や高齢者悪性リンパ腫、骨髄異形成症候群と関連した白血病などについては標準治療がなく、個々の患者さまに応じた治療を行っています。

## 第八回市民病院健康講演会開催される

秋晴れの10月16日の日曜日午後、市民病院医療センター3階講堂で第八回院内健康講演会が開催され、82名の参加がありました。この岡崎周辺は従来から脳血管障害が多発する地域と云われています。そんなわけで今回は「脳卒中の予防」をとりあげました。

まず神経内科小林靖医師からは脳卒中発症のメカニズムがスライドを使って説明されました。脳卒中という病名は「悪い風に当たって倒れる」という意味であること、大きく分類すると脳出血（脳血管の破綻による出血）と脳梗塞（脳血管の閉塞）があることが紹介されました。後遺症として軽度なマヒの場合はリハビリテーションでかなりの回復が期待されますが、意識が全く戻らない重篤な場合もあります。脳卒中の予防には血压管理（高血圧を治療すること）が非常に重要ですが、もう一つは脳卒中を生じやすい糖尿病、高尿酸血症あるいは肥満などの予防が重要であると説明されました。

永里敏子・林公子両看護師からは、脳卒中予防のための日常生活の注意が詳しく説明され、家庭で毎日血圧を測定することの重要性があげられました。病院外来で測定する血圧は、慣れない場所に緊張することから余りあてになりません。最後に、血压管理や肥満と深い関係のある食事指導が江村純子栄養士からされました。まず肥満を防止するために高カロリーの食事、脂肪分の多い食事は避け、腹八分目とします。もちろん塩分も控えめにします。料理に使用する油も植物性のものがよいのですが、植物性ならば多くても良いというわけではなく少ない方が良いでしょう。そして野菜を一日に350グラム以上取るようにします。会場の参加者からの350グラムという数値への驚きの声に対して、野菜は生野菜とは限らず、おひたしや煮込んだものもいれますから、意外に簡単に350グラムは摂取できるということです。野菜の中でも根菜類のごぼう、れんこんや海

草類が栄養面でよく、ビタミンCの多く含まれる果物も抗酸化作用があり老化予防に有効です。この根菜類は欧米には食する習慣が少なく、欧米人は余り摂取しません。従来、他の食材よりカロリー面では劣るとされ、その栄養学的な意味が不明であった根菜の効能は最近となって高く評価されてきたようです。

多くの調理食品がコンビニなどで容易に入手できる上、生活の多忙さからファーストフードで済ます機会の多い現代は飽食の時代といわれ、食生活は理想とおりには行きません。今回の健康講演会は、脳卒中で家族を悲しませないためにも、日常からのささやかな努力が必要であることを示唆するものでした。参加者の中には、「以前脳卒中を経験したので是非再発を防止したい」と終了後も熱心に質問する参加者もいて好評のうちに幕を閉じました。





## 第6回集団 災害訓練が開催されました

当院は災害拠点病院として、多数傷病者の発生する集団災害時には地域の関係機関と協力し医療活動を行います。円滑な活動ができるよう、年1回、市防災課・消防署・保健所・医師会・愛知県ドクターヘリなどとともに、集団災害訓練を行っています。

集団災害時には一般外来および予定手術・検査等を中止し、傷病者の診療に人員・資機材を集中します。病棟の個室を2床化して傷病者の入院に備えます。東海地震予知情報（警戒宣言）発表時にも同様の体制となります。

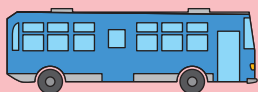
傷病者は来院後、重症・中等症・軽症・死亡の4段階に振り分けられます。重症者から治療しますので、軽症者の治療には時間がかかることが予想されます。当院の対応能力を超える傷病者が来院した場合には、応急処置後に転院して頂く場合があります。

一般外来および入院中の患者さんには、たいへんご迷惑をおかけ致しますが、ご理解・ご協力をお願い致します。なお、救急の患者さんにつきましては、災害傷病者と同様に対応させていただきます。



## 交通案内

### 公共交通機関ご利用のとき



市民病院行きまたは中央総合公園行きの名鉄バスをご利用ください。

名鉄東岡崎駅発  
美合駅発  
大樹寺発

の3路線が運行されています。

### タクシーで行く



正面玄関付近に乗降場があります。

### 車で行く



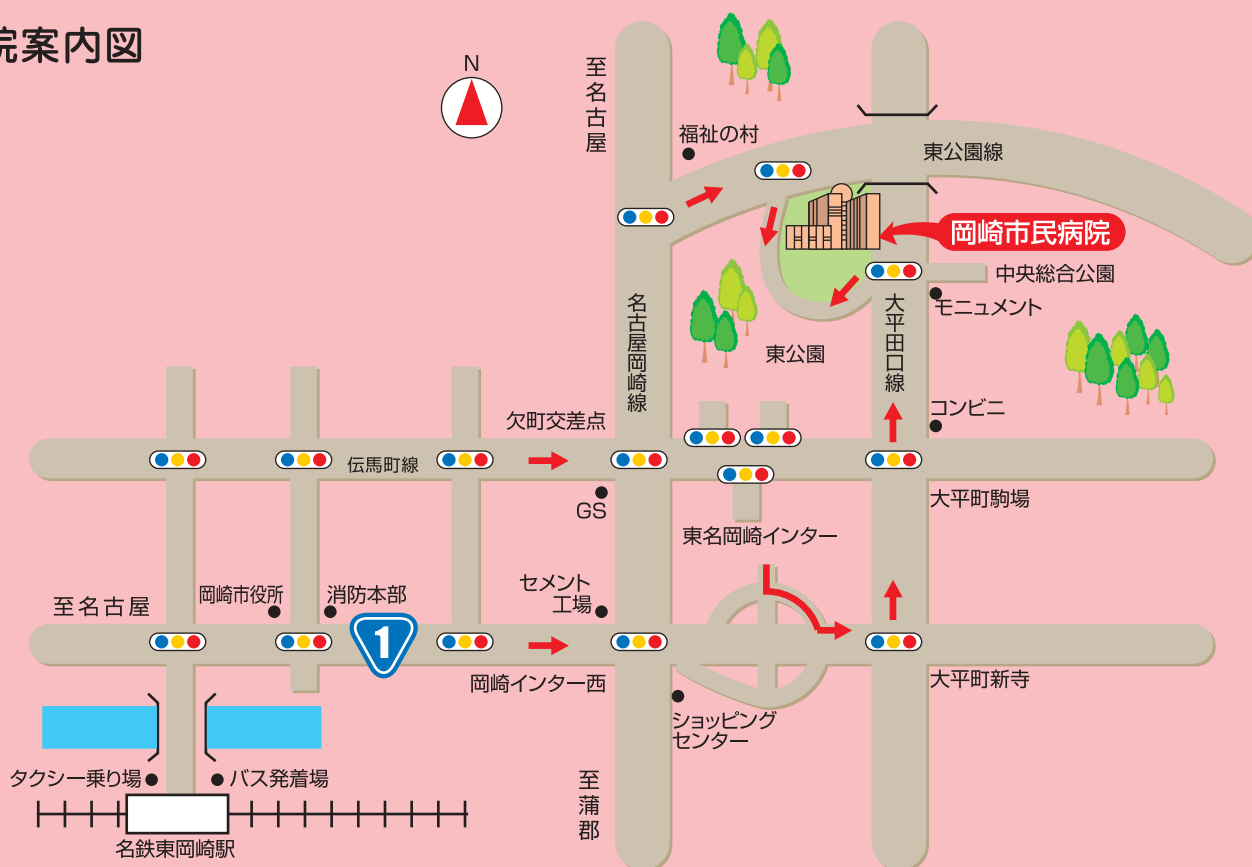
駐車場は第1から第5駐車場まで駐車台数646台を確保しております。

正面玄関から近い駐車場は第1・第2及び第5駐車場です。

第3・第4駐車場ご利用の方は北通路（午前7時30分から午後8時30分まで開放）を利用すると、中央受付及び病棟までスムーズに行くことができます

なお、第5駐車場は午前7時30分から午後8時30分まで利用できます。

## 病院案内図



住 所／岡崎市高隆寺町字五所合3番地1 (〒444-8553)  
代表電話・ファックス／TEL (0564) 21-8111 FAX (0564) 25-2913  
ホームページアドレス／<http://www.okazakihospital.jp/>  
メー ル ア ド レ ス／[suggestion.box@okazakihospital.jp](mailto:suggestion.box@okazakihospital.jp)



環境にやさしい大豆油  
インキを使用しています。



この印刷物は古紙配合率100%  
再生紙を使用しています。